



吉原

舞鶴市立吉原小学校
学校だより



令和2年1月31日発行 No.12



心の鬼退治

2月3日は「節分」。節分とは、「季節を分ける」ことを意味しており、季節の変わり目には厄が入りやすいとされていた時代、邪気を追い払い、福や運を招き入れるために「鬼は外、福は内」と掛け声をするようになりました。暦の上では4日が立春。三寒四温と言われますが、これからは、春のような温かい陽気と厳しい寒さが繰り返され、それでも少しずつ桜の芽も膨らむ春に向かっていきます。

豆は、「穀物には生命と魔除けの呪力が備わっている」という信仰、または語呂合わせで「魔目（豆・まめ）」を鬼の目に投げつけて鬼を滅する「魔滅」に通じ、鬼に豆をぶつけることにより邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあります。学校では、よく「心の鬼退治」をします。「さぼり鬼」「なまけ鬼」「おこりんぼ鬼」等、自分の退治したい「心の鬼」を考えて退治します。「心の鬼」は、子どもだけでなく、大人にもいるかもしれません。この際、心の鬼を退治してみるのもよいのではないのでしょうか。

感謝のキャッチボールが幸せのホームランとなる

1月は給食について考える「給食週間」を設け、毎日食べている給食について考えました。給食の歴史は、今から125年ほど前、明治22年、山形県の鶴岡町の忠愛小学校で、お坊さんが托鉢（たくはつ）で集めたお金を使って、貧しくて、お弁当をもってこることができずに困っている子どもたちのために、昼ご飯を作って食べられるようにしたのが始まりです。このころの給食は、おにぎりや漬物等、簡単でわずかな食事でしたが、子どもたちは食べ物に感謝し、大喜びでいただいたそうです。また、日本の食事のあいさつ「いただきます」「ごちそうさま」といった素晴らしい言葉についても紹介しました。毎日、当たり前のようにして食べている給食ですが、給食は多くの人たちの支えがあって成り立っており、給食を作ってくださる調理員さんだけでなく、生産者の方々へも感謝しなければならないことも学びました。また、栄養面を考慮してバランスよく作られているので、健康にも大きく影響することや、かむことの大切さについても学習しました。今後も感謝の気持ちを持ち、毎日おいしく給食をいただいて欲しいと思います。

あ・い・う・え・お

さて、今学期も、はや三分の一が過ぎました。寒さにも負けず、子どもたちは元気に登校し、順調に学校生活を送っています。2月22日（土）に予定されている「6年生を送る会」に向けての練習が、いよいよ始まってきました。

また、毎朝、学校下の交差点に立っていると、児童の「おはようございます」の声も少しずつ大きくなってきているように感じます。挨拶すると色々と良い効果が得られます。挨拶するのでもされるのでも「気持ちがいい」し大きな声を出して挨拶を続けていけば、顔は自然と明るくなり、口調もはきはきとしてき、「笑顔」になる機会が増えます。また、相手からの印象がよくなり、人間関係も良くなり、挨拶から会話が始まると思います。何よりも挨拶するのは、「社会の常識」だと思います。大人が子どもの手本となって、「あいさつは、いつも、うちでも外でも、えがおでおおきな声で」が実行できる環境を、学校・家庭・地域が一带となって、今後とも創り上げていきたいものです。

校長 井上 憲正 教職員一同

明るく楽しい学校をめざして



～いじめアンケート及び聞き取り調査結果より～

本校では、11月を「いじめ対策強化月間」としています。その一環として、いじめの早期発見・早期対応に生かすことを目的にアンケートを実施しました。結果は以下のとおりです。

(のべ件数)

アンケートの内容	①	冷やかしゃからかい、悪口や嫌なことを言われて困ったこと	2
	②	仲間はずれや集団による無視をされて困ったこと	0
	③	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり蹴られたりして困ったこと	1
	④	ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりして困ったこと	0
	⑤	お金やものを無理矢理「もってこい」と言われて困ったこと	0
	⑥	自分の持ち物やお金を、隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりして困ったこと	0
	⑦	嫌なこと、恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりして困ったこと	0
	⑧	メールや掲示板上に悪口などをかかれ、嫌な思いをしたこと	0
	⑨	その他①～⑧以外で困ったこと	0

今回のいじめアンケートの結果、悲しい思いや嫌な思い等困ったことがあるとの回答は延べ3件ありました。アンケートをふまえ、担任が全員と個別に面談の時間（いずみの時間）を持ち、一つずつ丁寧な聞き取りを行って対応しました。その結果、いずれも解消することができました。

児童の様子を今後もよく見て、もしトラブルが起こったときは、迅速に丁寧に対応して解決に努めていきます。保護者の皆様、地域の皆様も、心配なことや気になる様子が見られましたら、遠慮なく担任や学校までご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。

避難訓練・起震車体験

1月17日（金）の業間休みに、舞鶴消防署の方に来ていただき、『地震（京都府北部、舞鶴市は震度5強）発生。その後、給食室より火災発生』という想定で避難訓練を実施しました。子どもたちは緊急放送をよく聞き、机の下にもぐって頭も守ったり、ガラスのある場所から離れてしゃがんだりして、揺れが収まるのを待った後、「給食室より火災発生」という放送を聞いた後、火元から離れることを意識しながら、落ち着いて運動場に避難しました。

その後、全校児童が「起震車体験」をしました。実際に日本で起きた地震を、揺れ・映像・音で全校児童が体験しました。一人一人が真剣な表情で、身を守る行動をとることができました。

万が一に備えて、自分の命を守るためにどう行動すればよいのかを考える機会となりました。



ぼくはきしん車にのりました。しんど7までいったので、すごくゆれました。こわかったです。3人できしん車にのったので、みんなでつくえの下に入りました。

どんなじしんが来てもおかしくないので、じしんが来たときは、自分の身を守る大切なおことだとわかりました。

しょうぼうしょのみなさん、ありがとうございました。わかったことがたくさんありました。またたいけんできたらいいなと思いました。

(2年児童の作文より)

きしん車体けんで、じしんがおきたら身動きがとれないんだと知りました。大きくゆれたり、えいそうで、電気がとてもぐらぐらとしていて、いろいろなものがたおれてわけていたりしました。火事がおきたりするんだなと思いました。

(2年児童の作文より)

給食週間 ～食の大切さについて～

1月27日(月)～31日(金)までを『給食週間』とし、毎日の学校給食や自分の食生活についてふり返り、食の大切さや健康について学んだり、自然の恵みや食に関わる人々に感謝する心を育てたりすることをねらいとして、給食週間の取組を行いました。全校集会・栄養指導・調理員さんとのふれあい・健康委員会の児童による「好き嫌いをなくそう」の劇や、お昼の放送で食材の説明や豆知識の紹介、交流給食などさまざまな取組を行いました。



私のめあては、カルシウムをいっぱい取ることです。カルシウムを取らなかったら、イライラすると聞いて、気をつけようと思いました。ほねをしょうぶにして、元気いっぱい遊びたいからです。高学年は、1日800mgのカルシウムを取らなければならないことが分かりました。1食266mgのカルシウムを取ることを目安にするとよいことも分かって、いろいろ勉強できたなと思いました。急にイライラするときもあるので、カルシウムが取れていないのかなと思いました。カルシウムを取って、イライラしないようにがんばりたいです。(5年児童のふり返りより)

これから、1日800mgのカルシウムを取るために、1日3食しっかり食べたいなと思いました。そして、カルシウムを取るだけでなく、てき度な運動をしたりすいみんを取ったり日に当たることも大切なんだなと思いました。

しょうぶなほねを作るために、自分にできることは何も知らなかったけれど、自分にできることが分かったのでよかったです。(5年児童のふり返りより)

「百人一首大会」～継続は力なり～

1月16日(木)に、「百人一首大会」を体育館で行いました。異年齢班赤白対抗の6グループの中に静溪会の皆様にも分かれて入っていただき、子どもたちの取る様子を見守っていただきました。

本校では、『古典に親しみながら、日本語の持つ言葉の美しさやリズムの特徴を感じ、楽しんでほしい』と、冬休みの前に、1年生10首、2・3年生15首、4・5・6年生20首を覚える宿題を毎年出しています。「継続は力なり」です。今年もしっかり覚えている子どもがたくさんいて、上の句を詠んでいる間に「ハイ!」という声があちらこちらから聞こえたり、取り札に同時に手をつけて、ジャンケンで決めたりするなど、どのチームも白熱した試合になりました。熱戦の結果、白組の勝ちになりました。最後まで緊張感をもって、真剣な中に楽しい時間を過ごすことができました。

静溪会の皆様、今年度もご協力いただき、ありがとうございました。

- ・ きょう百人一首大かいで、10まいとれてうれしかったです。いっぱいとれたからです。また2ねんせいになったら20まいとりたいです。
- ・ きょう、百人一しゅたいかいでまけてしまいました。あかぐみが107くらいで、白ぐみが207くらいで白ぐみがかちました。わたしは、4まいしかとれませんでした。くやしかったです。(1年児童の日記より)



6年生「中学校体験入学」～城北中学校区小中一貫教育～

1月23日(木)に、6年生7名が城北中学校の体験入学に参加しました。4校(余内小学校・福井小学校・明倫小学校・吉原小学校)の6年生児童全員が、城北中学校の体育館で交流した後、生徒会本部役員による学校説明や校長先生のお話を聞きました。グループに分かれて教室に入って給食を食べ、中学校の先生から数学の授業を受けました。

クラブ体験や城北祭への参加など、何度も城北中学校へ行ったり、他校の友達と交流したりすることで、中学校生活への期待を膨らませることができました。